



サトイモの茎とネギをカットし開会を祝う関係者

9/30

秋のいものこ会 楽しんで 磐井河原いものこ会 実行委員会

第40回磐井河原いものこ会が磐井川緑地公園で始まり、開会セレモニーを開きました。初日は100人以上が利用し、地元特産の南沢土垂里芋を使った「いものこ汁」を堪能。磐井河原いものこ会は、11月5日までの土曜、日曜、祝日に開催されました。

9/27

全役職員が交通安全誓う



誓約書を提出し啓蒙品を寄贈

秋の交通安全運動期間に合わせて全役職員486人が自署した交通安全誓約書を、一関警察署と千厩警察署に提出しました。また、事故のない社会づくりや地域貢献を目指し、交通安全啓蒙品の反射材を施したエコバッグ589個を寄贈しました。

9/25

中生種の適期収穫を指導 JA果樹部会りんご専門部



食味や着色を確認する生産者

中生種収穫指導会を管内3会場で開き、りんご中生種の収穫最盛期に向け、生育状況や収穫時のポイント、荷受け体制などを確認しました。ふじの葉摘み作業を2回に分けて行うことなど今後の栽培管理を指導し、良品質出荷に向けて意識統一を図りました。

9/25

昔と現代の稲刈りを体験 厳美小学校（二関）



教わりながらバインダーで稲を刈り取る児童

5年生16人は、JAの佐藤克徳営農部長や地元農家の指導で、稲刈りを体験しました。手刈りやバインダーで稲を刈り取り、束ねてホニオに掛けた他、コンバインに乗車しての稲刈りも体験し、終了後には、新米おにぎりと芋の子汁に舌鼓を打ち、収穫を喜びました。

9/11

餅つき楽しみに刈り取り 黄海小学校（藤沢）



刈り取った稲をホニオに掛ける児童

5年生12人は、5月に田植えた学習田「びかぴか田んぼ」で稲刈り体験学習を行いました。黄海地区老人クラブと耕作支援隊の指導で「こがねもち」の稲を手刈りし、ホニオに掛けました。収穫したもち米は、収穫感謝の会を開き、餅つきをして味わう予定です。

10/3

シイタケ
良品質出荷誓う
JA椎茸部会
菌床椎茸専門部

椎茸目ぞろえ会を開き、大きさや開きのばらつき、変形の混入に注意することなど品質の統一を指導し、出荷本番に備え、生産者の意識統一を図りました。小山龍次専門部長は「良品質の物を一つでも多くそろえて出荷していきたい」と意欲を示しました。



出荷基準を確認する生産者

10/12

花き産地PRし情報交換
岩手鉢物研究会



花の状態などを生産者と情報共有

令和5年度シクラメン販売プレゼンテーションを開き、出荷最盛期を前に生産者や市場関係者が産地と消費地の情報交換を行いました。千葉浩一研究会会長は「夏の高温の影響の中で花の仕立て方には試行錯誤した」など生育状況を伝え、産地をPRしました。

10/4

ASIA GAP 認証拡大
JAブランド米部会



審査員から審査を受ける千田農園の千田康博さん

ASIA GAP 団体認証を継続するため維持審査に臨みました。「銀河のしずく」を生産し、今年度新たに認証取得に取り組む千田農園（一関）では、審査員が訪問し、栽培管理や出荷記録の整備状況、農場施設の管理状況など細部にわたり審査を受けました。

9/29

成長した稲と収穫に笑顔
赤荻小学校（一関）



地元農家の指導で稲を刈る児童

5年生47人は、田んぼ所有者の阿部邦弘さん（一関）と地元農家の指導で、「コシヒカリ」の稲刈りを体験しました。鎌で手刈りし、束ねてホニオに掛けました。村上暖空くんは「刈るのはスムーズにできたけど、結ぶのが難しかった」とほほ笑みました。

9/29

作業の苦勞知り収穫喜ぶ
東山小学校



稲を刈り束ねる児童

5年生41人は、千葉健一さん（東山）が所有する7㌥の田んぼでJA東山青年部や近隣農家の協力の下、5月に植えた「こがねもち」の稲を手刈りし、束ねてはせに掛けました。収穫したもち米は、市内の業者に委託し、餅に加工して児童に届けられます。



作り方を参考にしながら作成する参加者

10/12

研修を生かし
普及活動へ

生活シーダー全体研修会を開き、家の光記事を活用し、「ハロウィーンを楽しむお菓子飾りのフェルトのチャーム」と「カボチャのお化けの手提げ」などを作成し、細かい作業に苦戦しながらも完成させました。今後、各地域での普及に生かします。



寄せ植えを行う参加者

10/14

ハーブの特性などを理解
JA女性部フレッシュ部

ハーブの寄せ植え講習会をArk館ヶ森(藤沢)で開き、部員6人がArk館ヶ森の職員の指導でハーブの特性や寄せ植え方法、管理方法などを学び交流を深めました。西城真奈部長は「初めて企画したが、好評なので今後とも継続していきたい」とほほ笑みました。



ソフトクリームを受け取る来場者

10/14

文化祭で牛乳の消費拡大
JA酪農部会

JA酪農部会は県立千厩高等学校文化祭会場でソフトクリームを振る舞い、来場者に牛乳のPRと消費拡大を図りました。JA畜産課の佐藤翼職員は「生産現場は厳しい情勢が続いているため、牛乳の消費拡大につながってほしい」と期待を寄せました。



収穫を喜ぶ参加者

10/8

消費者と稲刈り交流深め
“都里夢米生産振興協議会(一関)”

巖美町山谷地区の米を取り扱う生活クラブ生協との稲刈り交流会を開き、生協組合員とその家族、地元農家、関係者約60人が参加し、手刈りでの稲刈りを行いました。終了後には「銀河のしずく」の新米おにぎりと芋の子汁を食べながら交流を深めました。



協力しながら稲刈りを行う児童

10/6

作業分担し楽しく稲刈り
滝沢小学校(一関)

5年生29人は、JA一関青年部真滝支部の指導で稲刈り体験を行い、5月に植えた「ひとめぼれ」の稲を手作業で刈り取り、ホニオに掛けました。刈る、束ねる、運ぶの3つの作業を分担し、交代しながら作業をしました。児童は昔ながらの脱穀も体験する予定です。

10/18

金色の風生産者と 交流会 千厩高等学校

生産技術科の生徒は、農業実習で今年初めて「金色の風」を栽培したことから、「金色の風」生産者の小野寺俊行さん（一関）と千葉大さん（藤沢）から米作りに対する思いなどを聞き、理解を深めました。4品種の米の食べ比べも行い、食味の違いも確認しました。



「金色の風」生産者から話を聞く生徒

10/17

牛と触れ合い酪農に理解 岩手県牛乳普及協会



搾乳を体験する児童

酪農出前教室青空コースを赤荻小学校（一関）で行い、5年生47人が牛乳の飲み比べやバター作り体験、搾乳体験などで酪農や牛乳に理解を深めました。乳牛1頭と子牛1頭が校庭に搬入され、子牛の心音を聞いたり、搾乳を体験し牛と触れ合いました。

10/20

料理学び畑の講習会閉校 JA女性部川崎中央支部



木村さんから教わりながら調理する部員

料理教室を開き、野菜ソムリエプロの木村千恵美さんの指導で、栽培した西洋野菜などを使用し4品を作り、畑の講習会を締めくくりました。今野典子支部長は「畑の講習会の活動を通じて、拠点がなくてもJAが身近な存在だと再認識できた」と笑顔を見せました。

10/6

メダカ米を 手作業で収穫 川崎小学校



鎌で稲の刈り取りをする児童

5年生20人は、（農）門崎ファームの組合員やJA川崎青年部の指導で、5月に田植えしたメダカが生息する田んぼの稲刈りを手作業で行いました。菅原唯叶くんは「初めての体験で刈り取りは楽にできたが、束ね方にとっても苦労した」と語りました。

10/20

大きなおイモとれたよ！ 真滝幼稚園（一関）



サツマイモを収穫する園児

3、4、5歳児26人は、JA女性部一関中央支部真滝支部の指導で、園内の畑に植えたサツマイモの収穫を行いました。園児は取れたサツマイモを数え、収穫を喜び、佐々木晴輝くんは「大きなサツマイモが見つかったって重かったけど楽しかった」と笑顔を見せました。